



## 救命処置チェックシート

実技 成人・小児・乳児

●実際に救命処置を実施してみましょう!項目を確認して実技チェックしてみましょう!

区 分	項 目	チェック
心肺蘇生	安全の確認を行ったか。	
	傷病者の反応を確認したか。	
	周囲の人に助けを求めたか。「誰か来てください。」	
	119番通報とAEDを依頼したか。 「119番通報してください。」「AEDを持ってきてください。」 (または誰もいない場合、自分で119番通報したか)	
	呼吸の確認をしたか。(胸や腹部を見て普段どおりの呼吸の有無を判断したか)	
	呼吸の有無の判断を10秒以内で行ったか。	
	ただちに胸骨圧迫を開始したか。	
	正しい位置を圧迫しているか。 成人・小児:胸の真ん中(胸骨の下半分) 乳児:胸の真ん中(両乳頭を結ぶ線の少し足側)	
	毎分100~120回のテンポで圧迫したか。	
	約5cm(小児・乳児の場合は胸の厚さの1/3)沈み込むように深く圧迫したか。 成人・小児(体型により片手で実施)は両手で圧迫 乳児は2本指で圧迫	
	圧迫と圧迫の間は胸が元の高さに戻るまで解除したか。	
	気道を確認したか。(頭部後屈あご先挙上法)	
	人工呼吸をしたか。(1回1秒かけて2回吹き込んだか。) 乳児:人工呼吸の準備ができ次第、人工呼吸を開始したか。	
	心肺蘇生法を30対2のサイクルで行っているか。	
AED到着から 解析まで	AED到着後、傷病者の近くに置き、電源を入れたか。	
	年齢に応じて小児用電極パッド又は小児用モードを選択したか。	
	傷病者の胸部を確認したか。(胸部の乾き・ペースメーカー・経皮貼付剤・貴金属)	
	傷病者が濡れている場合、胸部等をタオルで拭いたか。	
	電極パッド同士が重ならず、適切な位置に貼られているか。	
	傷病者の胸部にペースメーカーを確認した場合、ペースメーカーを避けて電極パッドを貼ったか。	
	傷病者の胸部に経皮貼付剤・貴金属を確認したら取り除いて電極パッドを貼ったか。	
解析時は、誰も傷病者に触れないよう「みんな、離れて!」と声を出したか。		
「ショックが必要です。」 のメッセージ	ショック時は、誰も傷病者に触れないよう「みんな、離れて!」と声を出したか。	
	誰も傷病者に触れていないことを確認して、ショックボタンを押したか。 電気ショック終了後、すぐに胸骨圧迫を再開したか。	
「ショックは不要です。」 のメッセージ	すぐに胸骨圧迫を再開したか。	
胸骨圧迫の交代	2人以上いる場合、1~2分を目安に胸骨圧迫の役割を交代したか。	
引継ぎ	救急隊が到着するまで、心肺蘇生を続けたか。	
	到着した救急隊に、傷病者の倒れた状況、心肺蘇生法及びAEDによる除細動実施回数等を伝えたか。	
胸骨圧迫比率	胸骨圧迫比率が60%以上になるように心肺蘇生を行ったか。 (※ 胸骨圧迫施行時間÷全心肺蘇生時間)	